

戦評用紙

大会名	令和6年度 第75回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会
-----	--

日時	2024年6月9日14:15～	区分	高体連
----	-----------------	----	-----

チームA				チームB
羽黒				米沢中央
111	35	1Q	23	73
	24	2Q	15	
	29	3Q	17	
	23	4Q	18	
		延長		

【戦評】

決勝戦は新人大会を獲った米沢中央と、4月の藤井高野杯を獲った羽黒との一戦になった。
スターティングメンバーは羽黒#2、#18、#26、#37、#88 米沢中央#1、#5、#21、#25、#91

1P お互いにマンツーマンディフェンスでスタート。羽黒#18の3Pで試合の幕が上がる。対する米中は#21が3Pを沈め、一進一退の展開が続く。その後、米中は#18の連続3Pや#21のインサイドアタックで点数を重ねる。一方羽黒は堅い守りから#37がリバウンドからの速攻で得点を重ねるなど徐々に点差を広げていく。両チームともに高確率でアウトサイドシュートを決め、ハイスコアの展開が続くものの、羽黒がペースを握ったままでゲームが展開していく。第1ピリオドの点数は羽黒35-23米中。羽黒が12点をリードして終える。

2P 反撃を試みる米中はダブルチームでプレッシャーをかけるが、羽黒は#18の3P、インターセプトからの速攻で点差を広げる。米中はここで1回目のタイムアウト。タイムアウト明け、#5・#91のドライブからの得点で点差を詰めにかかるが、羽黒も激しいディフェンスから流れを渡さない。4分、羽黒インターセプトから速攻の場面で、米中#35が痛恨のファール。アンスポーツマンライクファールを取られる。米中は#5がインサイドでの得点で食らいつくが、羽黒#88・#26がスピード感あふれるドライブで米中のディフェンスを切り裂き、さらに点差を広げていく。7分、米中はディフェンスを3-2ゾーンに変更しリズムを変えにかかるが、羽黒もペースを渡さない。#26がミドルシュートを沈め、22点差をつけたところで米中は前半2回目のタイムアウト。タイムアウト明け、米中#91の連続3Pで反撃するものの、羽黒の勢いは止まらない。前半終了、羽黒59-38米中。

3P 両チームともディフェンスはマンツーマン。後半最初の得点は羽黒#26のドライブイン。その後羽黒#18がミドルシュート、3Pを連続で決め28点まで点差を広げた。米中はたまたら後半1回目のタイムアウト。しかし、タイムアウト明けも羽黒のペースは変わらない。米中#1がミドルシュートを沈めるものの、羽黒#26のスピードについて手を出してしまい4つ目のファールをしてしまう。その後米中は、#21や#23のアウトサイドで食らいつこうとするものの、羽黒#26がドライブ、3P、アシストとゲームを完全に支配する。3P終了。羽黒88-55米中。羽黒が33点のリードを奪う。

4P 追いつきたい米中。#21がリバウンドからのシュート、#1の3Pと連続得点。しかし羽黒選手たちのスピードについて手を出してしまい、チームファールを重ねてしまい苦しい展開が続く。5分。羽黒#18がこの試合8本目の3Pを沈め大きく点差を広げ、さらにインターセプトからの速攻を決めたところで、米中後半2回目のタイムアウト。しかし、その後も羽黒のペースを変えることができないまま大勢が決した。最終スコアは羽黒111-73米中。

最後まで好ゲームをを繰り広げた両チームの健闘を称えるとともに、拍手を送りたい。

戦評者 小関 翔太、柴田 翔